

5心福地第206号  
令和5年7月10日

各区市町村障害福祉主管課長 殿

東京都福祉局障害者施策推進部精神保健医療課長  
佐藤 淳哉  
東京都心身障害者福祉センター地域支援課長  
外川 達也  
(公印省略)

令和5年度小児の高次脳機能障害に関する研修会の実施について（依頼）

日頃より、福祉局の事業運営に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、福祉局では、東京都心身障害者福祉センターを都における高次脳機能障害者の支援拠点機関として、相談支援、支援ネットワークの構築、人材育成及び普及啓発等に取り組んでおります。

このたび、課題となっている小児の高次脳機能障害をテーマとした研修会を下記のとおり実施いたします。

今回の研修会は、講演の動画をインターネット上で配信することにより、実施いたします。

については、関係職員への周知及び参加への御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

## 記

### 1 目的

小児期において脳外傷や脳炎、脳症等により高次脳機能障害が生じることがある。しかし、小児の高次脳機能障害についての認知度は高いとは言えず、高次脳機能障害の子どもやその家族が適切な支援や情報提供を受けるためには、小児期以降の相談、教育等の関係機関職員への普及啓発や理解促進が重要である。

本研修会では、講演を通じて、小児期の相談、教育等に携わる関係者が高次脳機能障害の基礎知識、対応方法、家族支援等についての理解を深めることにより、高次脳機能障害のある児童（就学前を含む）・生徒・家族への支援の充実を図ることを目的とする。

### 2 主催

東京都福祉局障害者施策推進部精神保健医療課  
東京都心身障害者福祉センター地域支援課

### 3 対象者

小・中学校、高等学校、特別支援学校等又は教育相談所（室）の教職員、スクールカウンセラー、特別支援教育支援員、区市町村保健所・保健センター、子供家庭支援センター、急性期や回復期等の医療機関、東京都保健所、児童相談所、精神保健福祉センター又は高次脳機能障害者支援促進事業実施区市町村（受託事業所）の職員等

※教育関係者には、教育庁より、開催案内を送付しております。

※保健所、保健センター及び子供家庭支援センターには各区市町村の母子保健主管課及び児童福祉主管課より開催案内を送付しております。

※「高次脳機能障害者支援促進事業」を実施している区市町村におかれましては、受託事業所の「高次脳機能障害者支援員」へ周知くださいますようお願いいたします。

4 配信期間

令和5年8月18日（金曜日）午前9時から同月31日（木曜日）午後10時まで

5 定員

700名（教育関係者450名、医療・福祉等関係者250名）

6 テーマ

高次脳機能障害のある子供の理解

～学校、家族、それぞれの立場から、何を、どこまで、どうすればいいのか～

7 プログラム

<講演>

小児期の高次脳機能障害の理解と対応

講師：京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科 教授 中島 恵子 氏

<トークセッション>

学校、家族、それぞれの立場から、何を、どこまで、どうすればいいのか

登壇者：高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会ハイリハキッズ 代表 中村 千穂 氏

高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会ハイリハジュニア 会員 植木 英子 氏

東京都立墨東特別支援学校 主幹教諭 林田 麻理子 氏

※詳細は別添チラシを御参照ください。

8 申込方法・期間

チラシに記載する東京共同電子申請・届出サービスを利用しての申込みになります。

<医療・福祉等関係者>の申込みURLより令和5年8月8日（火曜日）午後5時までにお申し込みください。

※先着順で、定員になり次第締め切りとなります。

**【担当】**

東京都心身障害者福祉センター地域支援課

高次脳機能障害者支援担当 守矢・奥・高橋

電 話 03（3235）2956

E-mail：S1143803@section.metro.tokyo.jp